

地域連携だより

第11回善通寺市

在宅医療・介護連携研修会

9月29日(木)第11回目の在宅医療・介護連携研修会を開催しました。令和2年度からオンライン開催が続いていましたが、今回は市役所新庁舎にお集まりいただいたの集合研修で、34名の出席がありました。今回は大杉脳外科デイケアセンター、理学療法士の大杉公人先生を講師にお迎えし、「意欲を引き出し自立支援につなげるリハビリ専門職のかかわりについて」をテーマにご講演いただきました。講演後は、肩こりに効くストレッチやデイケアで実施している脳トレ体操をご紹介いただき、参加のみなさまからは思わず笑顔がこぼれ、心身共にリラックスできたようでした。

大杉先生のご講演



体操の様子



【医療保険のリハビリと介護保険のリハビリについて】

医療保険：疾患別の集中的なリハビリで機能回復・ADL向上を目指す

介護保険：機能やADLを維持・向上しながら、活動や参加の再建・維持・向上を目指す

例) 脳卒中後のリハビリ

医療保険：歩行訓練や排泄動作の訓練を行う

介護保険：野菜をカットする訓練をする (活動)

家族のために食事を作れるようになる (参加)

【介護保険のリハビリのポイント】

- ・リハビリ専門職のみならず、多職種によるチームアプローチが重要
- ・信頼関係を構築し、対象者がどのような人生を送りたいかを「知る作業＝アセスメント」が重要
- ・ご本人の強みを生かした生活目標を設定し、成功体験を積み重ねることで自己効力感が向上

印象に残ったことは 障害の程度と活動・参加の程度は比例しない、可能性は無限大！！

グループワークを実施！

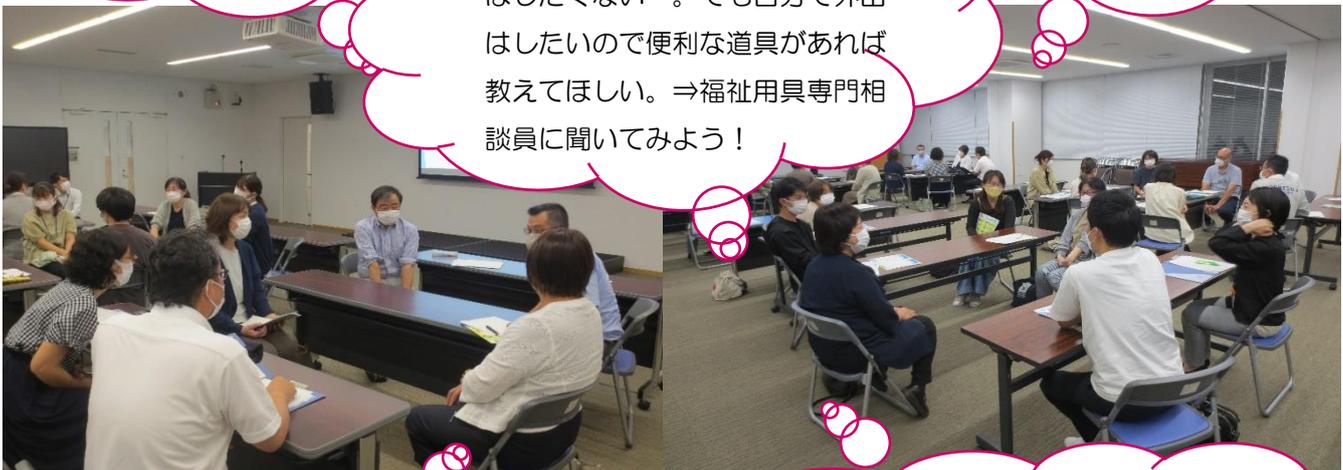
下記の設定で、自分が望む生活について考えたあと、各グループで共有しました。

あなたは70歳です。ある日、道端で倒れていたところを通行人に発見され救急搬送されました。検査の結果、脳梗塞と診断され入院治療を終えて退院予定です。後遺症として左半身に麻痺があり、今後は車いす生活になります。
あなたは今後、どこで、誰と、どんなふうに生活していきたいですか？
これだけは譲れないことや大切にしたいことはなんですか？

子どもの頃から運動が大好き。リハビリを頑張ってとにかく動きたい！！

動くのは好きでないが、トイレやお風呂は自分でしたいから、辛くてもリハビリは頑張りたい。

しんどいことは嫌だからリハビリはしたくない…。でも自分で外出はしたいので便利な道具があれば教えてほしい。⇒福祉用具専門相談員に聞いてみよう！



家族に迷惑をかけないことが最優先。施設に入りたけれど経済面が心配…。⇒ソーシャルワーカーが相談にのってくれる。

食事を口から食べたい。できればペースト食ではなくて、普通の食事を楽しみたい。⇒そのためには若い頃から歯科健診や口腔ケアをしっかりとっておこう！

【グループワークのふい返し】

- 意向は人それぞれであることが確認できた。しかし実際の支援場面では、ご本人の意向が把握できなかったり、ご家族の意向が優先される場面も多い。
- しっかりと自分の話をよく聞いてくれるケアマネジャーに担当をお願いしたい。信頼関係ができていないと、自分の希望（本心）を伝えることができない。
- 医療や介護に関する情報がないと自分が希望する選択ができない。多職種が連携して関わることで、いろいろな情報が提供でき、本人の意向をかなえるために協働できる。

善通寺市地域包括支援センター（高齢者課内）

TEL (0877)63-6364 FAX (0877)63-3778

Mail houkatsu@city.zentsuji.kagawa.jp